

直鞍2市2町と警察署が 連携を強化して暴力団を排除

10月8日、直方警察署と直鞍4市町との「暴力団排除連携会議」の初会合が市庁舎で行われました。公共工事の暴力団排除を目的に、警察署と直方市、宮若市、鞍手町、小竹町の2市2町が連携を強化するもの。公共工事の契約前に、自治体から警察署に落札業者の情報を提供するなどで暴力団の介入を未然に防ぎます。

直方警察署長の前川和彦さんは「公共工事は暴力団の資金源になっている。皆さんと協力し、取り締まっていく」と述べ、直方市長は「直鞍地域が一体となって、しっかりとした協力体制を築いていきたい」と連携への決意を語りました。



まちの話題



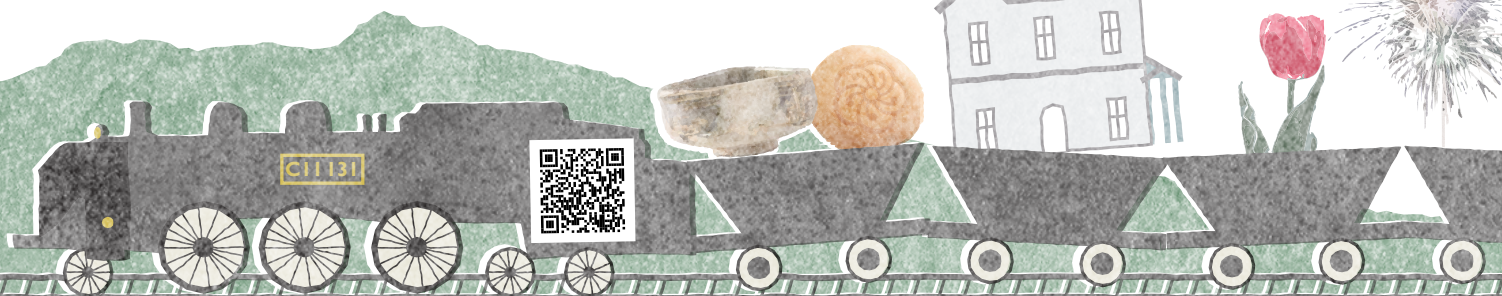
蒸気機関車の修復前進へ 心臓部であるボイラー部分を設置

9月22日、NPO法人 汽車倶楽部が蒸気機関車「D51形10号機」の修復作業を同敷地内で実施しました。この蒸気機関車は、行橋市が市役所内の敷地で40年以上展示し、平成29年に行橋市が同法人に譲ったものです。実は行橋市で展示される前は、旧国鉄の直方機関区で活躍。直方に「里帰り」という形で、現役を引退した地に戻ってきたのです。

移設後は、同法人が定期的に修復作業を実施。この日はクレーン車を使って、蒸気機関車の心臓部であるボイラー部分を動輪部分に搭載する作業を行いました。理事長の江口一紀さんは「市内には蒸気機関車が5両もあり、全国的にも珍しい。蒸気機関車をきっかけに、かつて直方が、鉄道のまちとして盛り上がった歴史や魅力を皆さんに知ってほしい」と話しました。修復作業は、1年以内に終える予定です。



市のホームページでは、この他の話題も公開しています。





北校区

13自治区公民館、915世帯で構成している北校区自治区公民館連合会の地域は、公共交通機関の起点やマンション、商店、病院、事業所などを有する密集地域を抱え、民生委員・児童委員16人が高齢者や児童の見守りを行うとともに、消防団の3つの分団（第1分団第2部、第2分団第1部、第2分団第2部）が

地域住民の安全安心を守っています。

防災（火災、水害等）活動や地域福祉（高齢者の見守り等）活動は、特に隣近所の方々が頼りになります。いざというときに、頼りになる人はいますか。助け合える隣近所づくりが自治会の役目です。

ぜひ、自治会への加入をお願いします。

◎連絡先

会長 金本 曉幸（TEL 24-3315）
主事 秋吉 勝行（TEL 22-0686）

連合会の活動

- 安全安心パトロールの支援
- ラジオ体操の費用の一部助成
- 高齢者のつどいの開催
- 自治区公民館長・主事・民生委員・児童委員・学校合同研修会の開催



安全安心パトロール支援



高齢者のつどいの開催

北校区青少年育成会の活動支援

- カヌー操作(河川環境)体験
- 花の育苗体験
- 学校文化祭
- 餅つき体験



カヌー操作(河川環境)体験



花の育苗体験



餅つき体験

学校との協働活動

- アイアン(挨拶安全)運動



北校区青少年育成会では、児童への新たな体験活動や情操教育の醸成活動、日本古来の文化の継承活動、学校・地域・家庭の交流の場の提供活動などを目的に、遠賀川でのカヌー操作（河川環境）体験や花の育苗体験、餅つき体験、学校文化祭における活動支援を行っています。

学校との協働活動では、各自治区公民館ごとの登下校等の見守りのほかに、毎月第1金曜日の朝には、各自治区公民館員や教員が通学路のポイントに立ち、児童への挨拶の呼びかけや登校時における安全指導を実施しています。